

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2020年4月10日

No 388

発行者；ELIC編集委員会谷口利男
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8
電話(03)6421-5323 染野ビル2F
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

ELIC

1部100円

ルネサス株主総会で追求



株主の皆さんにピラ配布！

3月27日(金)9時からルネサス株主総会の会場に通じる地下鉄有楽町線「豊洲駅」広場でルネサス懇、東京電機懇、電機・情報ユニオンのノボリを掲げて取り組みました。(上写真) 宣伝行動はルネサス懇「第44号と45号」を6人が参加し115枚(19年6人-166枚、18年8人-150枚、17年8人-109枚)手渡しました。ユニオンの米田委員長が携帯ハンドで訴えました。

株主総会で経営者責任を追求

呉前社長の辞任について「一昨年の当社業績が-3%となり2019年度予算が売上高で-1000億円(-15%)で、車載をどう回復させるのか聞いたが回答無く、リーダを換える必要があった」と回答した。7300億円で買収したIDTは適正価格であったのかについて「IDTの価値はキャッシュフローと技術力あり、アナログは変動制が低リスクがない。2/17にアナリストに説明したが、経営の無駄の排除、新しいソリューション顧客を掴んでいる」と回答した。過大投資により借金経営のリスクが生まれているかについて「キャッ

シュフローを1500億円も生み出しており、のれん代の6250億円は4年で返済できる。無形資産の4145億円は8年強で償却する予定である」と回答した。

錦の争議に本社対応を求める

社員を大事にする観点も含めて、ルネサス錦の派遣切り争議への解決をルネサス本社が対応すべきと求めた事に関して「会社にとって社員に関する事は重要と認識している。

錦での案件があったとの認識はしている。司法の決着がついているが、株主総会の場で労使協議中の回答は控えさせて頂く」と回答した。

今月号の紙面

- ①ルネサス株主総会で宣伝と追求
- ②20春闘を振り返って
- ③雇用形態の違いでの格差はダメ
- ④第6回三者共同の「省庁交渉」
- ⑤新型コロナウイルス対応策
- ⑥ラプラス「結婚式」九野さん
- ⑦電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧電機リストラ対策。メーカー参加からむすの原稿募集。集積回路